

2. 自宅での健康管理の推進

(1) 活動報告（概要）

		助成元	日本社会福祉弘済会
国名	タイ	団体名	“Sharing-Love Family”Group (シェアリングラブ・ファミリーグループ)
責任者	Ms. Duangjai Saichompoo	担当 修了生	ピック (22期) Ms. Duangjai Saichompoo
事業名	自宅での健康管理の推進		
活動地	<p>ナコーンラーチャシーマー県は、タイ北東部最大の都市で、パークチョン郡の人口は約 25 万人 (2010 年)。農業を生業としている住民が大半を占める。</p> 		
活動報告（目的・内容、成果など）			
<p>1. 事業計画概要</p> <p>事業のパートナーである公衆衛生局が選定したナコーンラーチャシーマー県 パークチョン郡 タンプン・カノンファ地区の高齢者とその家族、30 世帯を対象に、研修やカウンセリング等を通して家族の成長を支援する。助成金額 29.5 万円</p> <p>2. 目的・実施理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅での健康管理による高齢者の生活の質の向上 2. 自宅での健康管理にかかるボランティアの養成 3. 高齢者の参加による介護プログラムの開発 <p>3. 実施内容と成果</p> <p>助成金は、以下のセミナーや研修等に活用された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 希望者向けに基礎保健知識に関するイベントを開催 			

2. 高齢者と家族のための「自宅での健康管理研修」（研修には、医師による指導、健康食品の試食、高齢者の体操、音楽療法、ハーブ療法等を含む）
3. ボランティアを対象とした「自宅での健康管理研修」のトレーナー研修（Training of Trainer）
4. 自宅訪問、カウンセリング
5. フォローアップ

この事業を実施したことで、高齢者やその家族が自身の家族の健康維持のために協力して取り組む姿が見られた。また、高齢者と家族が居宅での健康管理について基礎的な知識を得たことで、高齢者はこれからの人生を楽しんで生きることができるようになるとともに、家族とボランティアは自宅での高齢者の生活にかかる知識を得て、ケアの重要性を理解することができた。

4. 今後の展望

今後自宅での健康管理について、各家庭ではなく、地域ぐるみで取り組むことができるような仕組みづくりが必要である。同時に、誰もが自宅で適切な健康管理ができるようになるためには、セルフケアを普及させることが大切であり、引き続きセルフケアの普及・啓発に努めていきたい。